

## ぼくもわたしも話せるよ

### 大平保育所英語教室

大平保育所では、今年5月から4、5歳児を対象にボランティアによる英語教室を実施しています。始めたきっかけは、保育所に通う園児のお母さん、鈴木亜美さんが「小さいころから興味を持たせたいので、英語教室をしませんか」と相談を受け、保育所でも「外国籍を持ち、英語が堪能な鈴木さんなら」と始めました。7月21日、4回目の授業になると、自信を持った大きな声で先生の質問に答える園児たち。授業は、カードやCDも使いながら「聞く、話す、読む」が組み込まれていました。鈴木先生は、「英語は最初のイメージが大切。良くないと嫌いになってしまうので、楽しさを知ってもらいたい」と話します。



「カードの色は何色かな」の質問に「ブルー、レッド、オレンジ・・・」と元気に答える園児たち



啓発ビデオの登場人物を黒板に貼り出し、「それぞれが何を考えていたか」の質問に、児童は感じたことを活発に答えました

## 人が嫌がることはイジメ

### いじめをなくそう人権教室

児童が、楽しい学校生活を送るため、他人に対する思いやりや優しさの大切さ、人権尊重思想の基本的な考え方を理解してもらうことを目的として、人権教室が実施されました。山武北小学校の3、4年生を対象に行われた授業は、市内で初の試み。授業は、人権擁護委員の松村俊昭氏が、児童に、日ごろ起こりうるいじめ問題に対し、自ら考えさせられるアニメビデオ「プレゼント」を鑑賞させながら、その感想の発言を求め、進められていきました。見学していた4年生担任の吉住先生は、「知らないうちに何となくいじめになってしまうことだってあるかも知れない。今日の授業で感じたことをこれからの生活に活かしてほしい」と話していました。

## 未来の科学者や動物博士

### いきいき体験教室「地球・日本探検教室」

8月7日に、市内の小学生4、5、6年生を対象とした、いきいき体験教室「地球・日本探検教室」を上野の国立科学博物館にて、実施しました。定員を超える応募があり、参加した子どもたち29人は、目を輝かせながら、真剣に展示物に見入っていました。図鑑などでしか見たことがなかった恐竜の化石や、テレビで見慣れた動物も、実際に見ると予想以上に大きく、その大きさに子どもたちは驚きながらも興味津々といった様子でした。

